

アニマルケア概論

(授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

科目	生命科学科	教員	荻野
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	36

目標

1 学期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、一人でできるようになる。

2 学期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。

全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できるようになる。

授業計画

1 学期

- 1回 1 動物を飼う 「環境編」
- 2回 1 動物を飼う 「予防編」
- 3回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」
- 4回 2 ペットとストレス
- 5回 3・4 ストレスの原因
- 6回 5 アロマセラピー
- 7回 6 精油とは
- 8回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由
- 9回 9・10 精油の抽出方法
- 10回 11・12 においと嗅覚
- 11回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム
- 12回 テスト
- 13回 テスト解答

- 14回 16 アロマセラピーと基材
15回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方

2学期

- 16回 19・20 ペットのアロマセラピー
17回 21・22 安全に使用するために
18回 ホリスティックマッサージとは
19回 ①なでる 手法実技
20回 ②たたく 手法実技
21回 ③引っ張る 手法実技
22回 ④揺らす 手法実技
23回 ⑤もむ 手法実技
24回 ⑥押しまわす 手法実技
25回 ⑦手を当てる 手法実技
26回 応用編
27回 応用編
28回 技術確認
29回 技術確認
30回 実技テスト
31回 実技テスト
32回 実技テスト ※実技テスト終了時は「栄養管理について」
33回 実技テスト ※実技テスト終了時は「栄養管理について」
34回 テスト（筆記）
35回 テスト（筆記解答）
36回 年間締め授業

授業の方法

講義、演習、グループワーク

教材

ノートプリント 1～22 マッサージ関連プリント 10枚 精油一覧表

評価の方法

期末試験80%、出席率 20%

授業外での学習方法

動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないよう行動する

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

株式会社 IK 工業ペット事業部 D-HAB 経営

トリミングゼミ演習

(授業概要、目的)

犬のグルーミング基礎を強化し、10犬種以上のその犬種にあったカットスタイルを学ぶ。

飼い主様への対応・説明を実際に行い、接客の実践練習を行う。

また周りをみて行動できる、向上心を持ち積極的な人材となる。

科	生命科学科	教員	神坂 美紀
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36×24時間

目標

1学期

犬種ごとのカットスタイルを理解し、実践できる。鋏の動かし方を確実に丁寧に行うことができる。
飼い主対応、カットのオーダーの取り方を理解する。

2学期

トリミングマスターライセンス取得に向け時間配分・仕上がりを意識しカットが出来るようにする。
(プードル:ベーシック90分・テディベアカット100分以内に仕上げ)
一人で接客対応・説明を行えるようになる

授業計画

1学期

- 1回 モデルグルーミング (プードルテディベアカット)・トリミング演習 (2人で1頭)
- 2回 モデルグルーミング (M.シュナウザーカット・ヨークー)・トリミング演習 (2人で1頭)
- 3回 モデルグルーミング (プードルマイアミラムカット)・トリミング演習 (2人で1頭)
- 4回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 5回 モデルグルーミング (ポメラニアン)・トリミング演習 (2人で1頭)
- 6回 モデルグルーミング (マルチーズ・シーズー)・トリミング演習 (2人で1頭)
- 7回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 8回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 9回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 10回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 11回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 12回 トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 13回 期末試験・トリミング演習 (1~2人で1頭)
- 14回 期末試験・トリミング演習 (1~2人で1頭)

2学期

- 15回 トリミング演習 (1~2人で1頭)・特別講義 (マナー講座)

- 16回 トリミング演習 (1～2人で1頭)
- 17回 トリミング演習 (1～2人で1頭)・特別講義 (ハサミについて・眼について)
- 18回 トリミング演習 (1～2人で1頭)
- 19回 トリミング演習 (1～2人で1頭)・特別講義 (シャンプーについて)
- 20回 トリミング演習 (1～2人で1頭)
- 21回 トリミング演習 (1～2人で1頭)
- 22回 トリミング演習 (1～2人で1頭)
- 23回 トリミング演習 (1人で1頭)・特別講義 (ドッグショーについて)
- 24回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 25回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 26回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 27回 トリミング演習 (トリミングライセンス試験)
- 28回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 29回 トリミング演習 (1人で1頭)
- 30回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット開始)
- 31回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)・卒研練習
- 32回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)・卒研練習
- 33回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)・卒研練習
- 34回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)
- 35回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)
- 36回 トリミング演習 (1人で1頭・オリジナルカット)

授業の方法

講義・実技実習

教材

カット資料・グルーミングマニュアル

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

ペットショップにてトリマーとして勤務

動物関連法規学 II

(授業概要)

動物を扱う仕事（トリマーなど）をする上で必要となる法律に関する知識を身につける。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36

目標

1 学期

法律上の飼い主の責任などについて理解し、説明できるようになる。

2 学期

外来生物法などを理解し説明できるようになる。

授業計画

1 学期

- 1回 授業概要説明
- 2回 法律上の飼い主責任 (1) 民法第 718 条
- 3回 法律上の飼い主責任 (2) 不法行為について
- 4回 法律上の飼い主責任 (3) 占有者の注意義務
- 5回 法律上の飼い主責任 (4) 過失相殺
- 6回 法律上の飼い主責任 (5) 実例
- 7回 法律上の飼い主責任 (6) 実例
- 8回 法律上の飼い主責任 (7) 実例
- 9回 法律上の飼い主責任 (8) 実例
- 10回 動物の法律上の位置づけ (1) 概要
- 11回 動物の法律上の位置づけ (2) 概要
- 12回 前期試験
- 13回 前期試験返却・解説
- 14回 動物の法律上の位置づけ (3) 動物に財産を遺す場合

2 学期

- 15回 動物の法律上の位置づけ (4) 動物に財産を遺す場合
- 16回 動物の法律上の位置づけ (5) 動物を保護した場合に気を付けること
- 17回 動物の法律上の位置づけ (6) 動物を保護した場合に気を付けること
- 18回 動物の法律上の位置づけ (7) 動物を保護した場合に気を付けること
- 19回 マンションにおける動物問題 (1) 管理規約と使用細則

- 20回 マンションにおける動物問題（2）専有部分と共有部分
- 21回 マンションにおける動物問題（3）動物飼育可のマンション
- 22回 マンションにおける動物問題（4）動物飼育不可のマンション
- 23回 マンションにおける動物問題（5）動物飼育不可のマンション
- 24回 動物を預かる場合（1）寄託契約について
- 25回 動物を預かる場合（2）実例
- 26回 動物を預かる場合（3）実例
- 27回 後期試験
- 28回 後期試験返却・解説
- 29回 動物を譲り渡す場合（1）贈与契約
- 30回 動物を譲り渡す場合（2）実例
- 31回 動物を譲り渡す場合（3）実例
- 32回 トリマーの法的責任（1）請負契約
- 33回 トリマーの法的責任（2）実例
- 34回 獣医師法（1）獣医師の義務と役割
- 35回 獣医師法（2）獣医師の義務と役割
- 36回 2年総復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートやプリントに関しポイントをまとめ直し、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

基礎健康管理学Ⅱ

(授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ。

科	生命科学科	教員	石原 昌代
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

目標

1学期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。

最低限の応急処置、対応ができること、また、起こさない予防策、接し方を習得する。

実際の症例課題を与え、問題点、応急処置、対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

2学期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。

動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し、最終形である死、について理解を深める。

授業計画

前期

- 1回 授業について
- 2回 エマージェンシーとは 状態確認の方法①
- 3回 状態確認の方法②
- 4回 外傷：応急処置①（小さな傷 大きな傷）
- 5回 外傷：応急処置②（出血）
- 6回 外傷：応急処置③（やけど）
- 7回 外傷：応急処置④（骨折）
- 8回 症例レポート
- 9回 前期復習
- 10回 試験範囲の説明（症例レポート提出）
- 11回 前期試験
- 12回 試験解答 説明
- 13回 外傷：応急処置⑤（ショック）
- 14回 その他：応急処置④（熱中症）

後期

- 15回 その他：応急処置②（眼球突出）
- 16回 その他：応急処置③（感電）
- 17回 その他：応急処置④（けいれん 発作）
- 18回 その他：応急処置⑤（溺水）
- 19回 その他：応急処置⑥（窒息）
- 20回 症例レポート
- 21回 中毒①
- 22回 中毒②
- 23回 心肺蘇生
- 24回 繁殖の管理
- 25回 分娩
- 26回 幼齢動物の飼育管理
- 27回 老齢動物の飼育管理
- 28回 安楽死 エンゼルケア グリーフケア
- 29回 安楽死 エンゼルケア グリーフケア
- 30回 前期、後期の総復習
- 31回 前期、後期の総復習
- 32回 試験範囲の説明（症例レポート提出）
- 33回 後期試験
- 34回 試験解答、説明
- 35回 グループワーク（心臓マッサージと人工呼吸）
- 36回 グループワーク

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、グループワーク

きょうざい
教材

教科書 板書、動物

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%（症例レポート点含む）、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

症例レポート提出

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

動物看護師

基礎経営概論

(授業概要)

経営の全体像を俯瞰的に見、企業活動の方向性と意味を理解する。また、経営や意思決定を行っていくうえで直面する諸事情に対応するためのバランス感覚を養う。組織活動における人・モノ・金・情報の流れを理解する。

科	生命科学科	教員	金海 泰
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	36時間

目標

1 学期

経営戦略を学習し、企業活動・経営活動の意義・意味を理解する。企業活動の方向性、成長戦略、競争戦略の諸理論の理解を通して、現状を把握し、その状況を打開するための下地を構築する。

2 学期

マーケティングを学習し、それらを実施していくうえでの重要ポイントの網羅と、それぞれのポイントが有機的に連携する重要性を理解する。経営や業務遂行のための実践的な知識・思考の獲得を目指していく。

授業計画

前期

- 1回 経営戦略とは、マーケティングとは
- 2回 経営戦略（経営理念、企業のごこだわり、理念と戦略）
- 3回 経営戦略（経営理念、理念と業務、理念と優先順位）
- 4回 経営戦略（環境分析、マクロ環境とミクロ環境、日本特有の環境）
- 5回 経営戦略（環境分析、SWOT分析）
- 6回 成長戦略（成長ベクトル、企業成長の過程）
- 7回 成長戦略（多角化戦略、さらなる成長のために）
- 8回 成長戦略（事業ポートフォリオ、事業と資金の循環）
- 9回 成長戦略（事業ポートフォリオ、経験の成果と製品の循環）
- 10回 成長戦略（内部成長方式と外部成長方式、自己成長、提携）
- 11回 前期試験①
- 12回 前期試験②
- 13回 成長戦略（買収・合併、顧客・組織文化・人の同質化の難しさ）
- 14回 競争戦略（コトラーの競争構造、競争構造の影響）

後期

- 15回 競争戦略（バリューチェーン、企業価値をつくるもの）
- 16回 競争戦略（3つの基本戦略、コスト・差別化・集中）
- 17回 競争戦略（競争地位別戦略、リーダーの戦略）
- 18回 競争戦略（競争地位別戦略、リーダーに対抗する戦略）
- 19回 マーケティング（マーケティングの定義・コンセプト・要素）
- 20回 マーケティング（標的市場の設定と接近、顧客を分ける）
- 21回 マーケティング（標的市場の設定と接近、ターゲットと位置付け）
- 22回 マーケティング（製品、定義・概念、分類）
- 23回 マーケティング（製品、製品と経営戦略、PLC、計画的陳腐化）
- 24回 マーケティング（製品、プロダクトミックス、品揃えの意味）
- 25回 マーケティング（製品、ブランドの定義・機能・利点・戦略）
- 26回 マーケティング（製品、サービス、特性・成否をわかるもの）
- 27回 マーケティング（プロモーション、プロモーション戦略体系）
- 28回 マーケティング（プロモーション、広告の定義・意味）
- 29回 マーケティング（プロモーション、媒体戦略と表現戦略）
- 30回 マーケティング（プロモーション、PR、人的販売、販売促進）
- 31回 マーケティング（価格、価格設定のためのWHO・WHAT・WHEN）
- 32回 マーケティング（価格、価格計画・価格政策）
- 33回 後期試験①
- 34回 後期試験②
- 35回 マーケティング（プレイス、流通チャネルの機能・戦略）
- 36回 1年間のまとめ

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、グループ活動

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

接客実践

(授業概要)

- ・接客をするために必要な知識・技術を身につける
- ・就職したとき、独立したときに戦力になることを目指す。

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

目標

- 1 学期
基本知識
- 2 学期
実践

授業計画

前期

- 1 回 自己紹介①
- 2 回 自己紹介②
- 3 回 接客とは（人と接するということ）
- 4 回 第一印象
- 5 回 人の表情
- 6 回 色が与える印象
- 7 回 接客への不満・言葉使い
- 8 回 人のカーミングシグナルから読み取る相手の気持ち
- 9 回 人の脳と接客の関係
- 10 回 後期振り返り・試験前対策
- 11 回 前期試験（実施）
- 12 回 前期試験（返却・解説）
- 13 回 接客の流れ（接客に入る前の準備）・トリマーとしての接客
- 14 回 電話での予約受付・電話での案内
- 15 回 店内での受付（カウンセリング）

後期

- 16 回 販売のコツ・ザイオンズ効果
- 17 回 年間行事・効果的なセールスの開催法

- 18回 POPとは
- 19回 POP（文字練習）①
- 20回 POP（文字練習）②
- 21回 POP（作成のコツ）
- 22回 商品情報の考察 23回
- 24回 犬の絵・イラスト・スタンダードの作成
- 25回 POP作成①
- 26回 POP作成②
- 27回 効果的なイベント開催法①
- 28回 効果的なイベント開催法②
- 29回 効果的なイベント開催法③
- 30回 経営者の求めるイベント企画
- 31回 後期振り返り・試験前対策
- 32回 後期試験（実施）
- 33回 後期試験（返却・解説）
- 34回 クレーム対応
- 35回 振り返り
- 36回 総まとめ

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

ペン、プリント、商品見本

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

ノート復習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

有

皮膚学

(授業概要)

動物の皮膚の構造を理解し、犬がなりやすい皮膚病、皮膚病になりやすい犬種、なぜ皮膚病になるか、などを学び理解した上で、皮膚病予防にはどんなフードやシャンプーが効果的かなどを学ぶ。

科	生命科学科	教員	神坂 美紀
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	36時間

目標

1 学期

動物の皮膚の構造を理解し、皮膚病の原因などを理解する。

2 学期

犬種別にかかりやすい皮膚病を学び、それに効果的なフードやシャンプーなどを理解する。

授業計画

前期

- 1回 皮膚の構造
- 2回 皮膚の構造
- 3回 皮膚の働き
- 4回 皮膚の働き
- 5回 人と犬の皮膚の違い
- 6回 人と犬の皮膚の違い
- 7回 犬のなりやすい皮膚病
- 8回 犬のなりやすい皮膚病
- 9回 犬のなりやすい皮膚病 (犬種別)
- 10回 犬のなりやすい皮膚病 (犬種別)
- 11回 なぜ皮膚病になるか
- 12回 なぜ皮膚病になるか
- 13回 皮膚病になりやすい部位
- 14回 皮膚病になりやすい部位

後期

- 15回 皮膚病に効果的な成分
- 16回 皮膚病に効果的な成分

- 17回 皮膚病に効果的な成分
- 18回 皮膚病に効果的な食材
- 19回 皮膚に効果的な食材
- 20回 皮膚に効果的な食材
- 21回 皮膚に効果的なドッグフード
- 22回 皮膚に効果的なドッグフード
- 23回 皮膚に効果的なドッグフード
- 24回 皮膚に効果的なシャンプー
- 25回 皮膚に効果的なシャンプー
- 26回 皮膚に効果的なシャンプー
- 27回 トリマーができる皮膚病対策
- 28回 トリマーができる皮膚病対策
- 29回 トリマーができる皮膚病対策
- 30回 トリマーができる皮膚病対策
- 31回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 32回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 33回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 34回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 35回 皮膚病の犬に効果的なトリミング
- 36回 総まとめ

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

資料を使用しての座学

きょうざい
教材

資料

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 20%
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

ペットショップにてトリマーとして勤務

老齡犬・卒研演習

(授業概要)

老犬の健康管理、ケア、介護、また老犬を持つオーナー様へのケアなど実際に仕事についたときに実践、アドバイスができる知識を学ぶ。

科	生命科学科	教員	稲岡
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36×2時間

目標

1 学期

老齡犬の基礎健康管理を学び、どのような変化が訪れ、どのように対応していくのかを学び、老犬がどのようなものをイメージできるようになる。

2 学期

老齡犬の介護の方法、家庭でのケア方法、オーナー様のケアを学び、具体的に将来どのように活かしていくのかを各自考えられるようになる。

授業計画

1 学期

- 1回 授業の説明、老齡犬について①
- 2回 老齡犬について②、老齡犬の身体的トラブル①
- 3回 老齡犬の身体的トラブル②
- 4回 老齡犬の身体的トラブル③
- 5回 老齡犬の身体的トラブル④
- 6回 老齡犬の身体的トラブル⑤
- 7回 老齡犬の身体的トラブル⑥
- 8回 老齡犬の身体的トラブル⑦
- 9回 老齡犬の身体的トラブル⑧
- 10回 老齡犬の身体的トラブル⑨
- 11回 老齡犬の身体的トラブル⑩
- 12回 試験
- 13回 期末試験フィードバック

2 学期

- 15回 介護②
- 16回 介護③
- 17回 介護④

- 10回 介護⑤
- 11回 介護⑥
- 18回 介護⑦
- 19回 介護⑧
- 20回 介護⑨
- 21回 介護⑩
- 22回 老齢犬のオーナーケア①
- 23回 老齢犬のオーナーケア②
- 24回 老齢犬のオーナーケア③
- 25回 老齢犬のオーナーケア④
- 26回 老齢犬のオーナーケア⑤
- 27回 卒研演習①
- 28回 卒研演習②
- 29回 卒研演習③
- 30回 卒研演習④
- 31回 卒研演習⑤
- 32回 卒研演習⑥
- 33回 試験
- 34回 試験フィードバック
- 35回 まとめ
- 36回 トリマーとしてできること

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

機会があれば老齢犬に関わり、普段の様子を観察する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり